

平成 29 年度

浜名湖環境保全活動交流実施業務委託  
実施報告書

事業名	平成 29 年度 浜名湖環境保全活動交流実施業務委託 『はまなこ環境団体交流会 2018』
事業形態	自主事業
運営形態	主催（委託者）：静岡県くらし・環境部 自然保護課 運営（受託者）：浜松市市民協働センター 実施協力：はまなこ環境ネットワーク
実施日	2018年2月10日（土）13：30～16：30
実施場所	庄内協働センター（浜松市西区庄内町14-5）
対象	浜名湖や流域周辺の環境・暮らし・観光・教育活動などに取り組む、企業・行政・市民活動団体。また、それらの活動団体に興味を持つ個人。
参加者	参加団体数：22 団体 参加者数：31 名 ※詳細は「別紙3」参照
目的	浜名湖に関連する団体同士の情報交換を通し、ネットワークを広げ、団体の更なる発展につなげていただくことを目的に交流会を開催した。

## <実施報告>

### 1. 挨拶

主催者挨拶として、静岡県くらし・環境部 自然保護課 班長 八木氏より本交流会の意義についてご説明いただいた。はまなこ環境ネットワーク 会長 芥川氏からは、ネットワーク設立から現在までの活動実績や今後の展望、課題等をご紹介いただいた。最後に、市民協働センター 副センター長 鈴木より、交流会を通して多様な意見が交わされ、団体のさらなる発展へつながることに期待していると参加者へ呼び掛けた。



### 2. 報告 はまなこ環境ネットワーク活動「平成 29 年度 浜名湖環境カレッジ報告」

はまなこ環境ネットワーク事務局の山内氏より、県主催事業として弁天島、湖西市地波田にて実施した「浜名湖環境カレッジ」の実施内容を紹介した。

環境カレッジ参加者へのアンケート調査で明らかになった「印象に残ったプログラム」の傾向や、「今後の活動への参加意向」の結果も紹介し、環境学習や啓発事業実施地域としての浜名湖の可能性を示した。



### 3. 情報提供（資金調達・情報発信などのお役立ち情報の紹介）

多くの団体が抱える課題である「資金調達」と「情報発信」について、クラウドファンディングの実践実績を持つ山内氏と、情報発信サポートを行っている市民協働センターより情報提供を行った。



#### <クラウドファンディングの紹介>

「活動資金を獲得するためのクラウドファンディング」と題し、クラウドファンディングの概要や特徴を説明した。また、いくつかの事例を紹介し、実際に挑戦する際のプロセスや、成功のためのポイントを述べた。

#### <市民協働センターの情報発信サポートの紹介>

市民協働センターが提供している無料の情報発信サポートとして、ブログやSNS、メールマガジンへの掲載事例を紹介。参加団体へ積極的な情報提供を呼び掛けた。また、情報発信に悩みを抱える団体への個別相談にも対応できる旨を伝えた。

### 4. リレートーク

団体の活動PRとして、下記8団体が活動紹介を行った。

昆虫食倶楽部	NPO 法人エコライフはままつ
EM倶楽部／湖西	日本野鳥の会 遠江
浜松地域資源活用研究会	一般社団法人りんたく遠州
浜松里山竹クラブ	浜名漁協弁天島遊船組合

1団体5分間という短い発表時間だったものの、取り組み内容や活動への想い、連携の意気込みを熱く語る姿が見られた。聴講者は、日頃知る機会が少ない他団体の活動内容や想いについて、熱心に耳を傾けていた。



### <休憩・試食・展示団体パネル見学>

休憩時間を利用し、展示団体の紹介とパネル見学、試食の時間を設けた。発表団体のほか、下記の6団体がパネルや物品展示、試食の提供などを行った。

NPO 法人 児童支援サポートセンター nourish (ナリッシュ)	レンタサイクル「はままつペダル」
はまなこ環境ネットワーク	NPO 法人 地域づくりサポートネット
浜名湖サイクルツーリズム推進会議	浜名湖のりブランド推進協議会

チラシやポスターだけでなく、浜名湖の資源を活用して育てた野菜や、多種多様な水辺の生物を展示する団体もあり、各団体工夫を凝らした展示が並んだ。

試食品としては、竹粉を使用したおから寿司や竹茶、浜名湖のりや小魚の佃煮、アマモで育てた野菜や漬物などが提供され、参加者は興味深そうに試食をしていた。



和やかな雰囲気の中、会場各所で名刺交換や意見交換を行う参加者の姿が多く見られた。展示団体にも会場前方で活動紹介をしていただき、参加者同士の相互理解をさらに深める時間となった。





## 5. 意見交換会（グループワークショップ）

2 グループに分かれ、浜名湖の環境保全活動の課題や今後の活動について意見交換を行った。グループ内で各自自己紹介を行った後、ファシリテーターの進行により、これからの浜名湖の保全・活用や連携に関する方向性について意見やアイデアを出し合った。

（※詳細は「別紙1」参照）



## 6. 全体発表及び総括

全体発表では、浜名湖の魅力と可能性について多くの意見が紹介されたと共に、広報力の弱さや団体間の情報共有、事業連携のコーディネートに関する課題が挙げられた。一方で、組織連携による課題解決のアイデアなど前向きな意見もあり、新たな事業展開の可能性を見出すことができた。



## 7. アンケート集計結果より

本交流会には、30代から60代以上まで、幅広い年代の方にご参加いただいた。アンケート項目の「参加理由」では、『情報収集やネットワークの構築を通し、今後の活動の参考にしたい』などの声が多く見られた。また、回答者の81%の人が『他団体との連携をしてみたい』と答え、具体的な連携先やアイデアも挙げられた。（※詳細は「別紙2」参照）

連携に対し意欲的な団体が多く見られることから、今後はより具体的な連携を進めるためのサポートが重要であると考え。本交流会をきっかけに協働事業が実現するよう、具体的な事業案を挙げた団体へのヒアリング、協働のコーディネート、情報発信・情報共有等のサポートなどを検討、実行していきたい。

## 意見交換会（グループワークショップ）での意見

---

### グループ① テーマ：環境教育（啓発・体験学習）

#### ■現状と課題

##### 1. 浜名湖の良さを再認識してもらう取り組みが必要

- ・ 浜名湖の資源や可能性を知らない人が多く、もったいない。
- ・ 高校生などの若者に対する啓発活動、参加の動機付けが必要。

##### 2. イベントへの集客に苦勞している団体が多い一方、「食」「漁業」に関する体験は人気

- ・ 募集しても集まらないことが多い。
- ・ 「観察」×「食」体験プログラムや「漁業体験」は人気があり、集客力が高い。

##### 3. 自然体験活動のリスクマネジメントと親の理解

- ・ 自然の中ではいろいろと経験を積めるが、アウトドアは危険と隣り合わせ。
- ・ 自然との遊び方を知らない大人も多く、親にどう理解してもらうかが課題。

#### ■アイデアや可能性

##### 1. 観光・リフレッシュの場として活用

環境は観光にもつながる／楽しんで親しんで／ストレス発散の場／地元の人しか知らない情報を紹介／若者を取り込む／八十八か所巡り／浜名湖一周ウォーキング

##### 2. 教育の機会として活用し、触れる機会・知る機会を創出

- ・ 自然に触れる機会をつくり、遊びから学んでもらうことは大切。
- ・ 子供たちに生物について知ってもらい、関心を持つきっかけにする。
- ・ 就学前の子ども達 → 食べ物のありがたみやモノを大切に作る心が育まれる。

##### <実施例>

- ・ 外来種を知ってもらう取り組みなど、駆除を教育現場で活用。
- ・ 工場見学で3Rを知ってもらう。

#### ■今後の課題・提言

- ・ 地元の人が浜名湖と関わりを持っていない。
- ・ 竹の処理や活用方法が無い。
- ・ 啓発の効果は目に見える形にすることが難しい → 第三者評価をしてもらえないか。
- ・ 体験プログラムやメニューを情報発信できないか。

**グループ②** テーマ：資源の有効活用、資源を活かした観光振興  
(守る・賢く使う、農林業や漁業に活かす、地域内循環)

■現状と課題

1. 浜名湖の魅力のPR不足

- ・広い、きれい、資源が豊富、アクセスが良いことをもっとPRしたい。
- ・弁天島で行われている自然観察体験教室や漁業体験など、ここでしかできないことを全国に発信したい。
- ・三湖サミットの際、食べる水産資源、見所が秀でていたことが分かった。もっとPRを！
- ・PRを上手に行うことで、関東などの都市圏からも誘客を図れる可能性がある。
- ・Youtubeを活用しては？

2. 事業者同士の情報交換・連携をどのようにするか

- ・個々の発信力だけでなく、連携して発信力を高めたい。
- ・他団体と協力することで、活動の幅を広げたい。
- ・活動団体が浜名湖のことをよく知ることが必要。知っているからこそ発信できる。
- ・事業者同士が互いの活動を知らない。情報共有をどのようにするか。

3. 資金調達、新規会員不足・会員の高齢化、人手不足（ボランティア）

■アイデアや可能性

1. 「漁業 × 観光」「船 × 自転車 × 大自然」「山 × 湖」など、コラボレーションによる魅力創出

- ・表（南）浜名湖の水上から景色を見ることができる。知られざる魅力を発信していきたい。
- ・交流会で知り合った諸団体の方々に、船を活用した活動で遊船組合を利用していただきたい。
- ・浜名湖の大自然が味わえるサイクリング。浜名湖の魅力の発信力不足という課題に、サイクリングで取り組む。
- ・里山の間伐材が余っているので、活用したい団体に提供できる。→ 間伐材の活用方法が分からない方も多いため、活用事例を教えてもらえると助かる。(スウェーデントーチなどで、インスタ映えも狙える！)

2. 環境資源を農業にも活用し、障害者雇用の創出を目指す

■今後の課題・提言

- ・ARの充実やアニメとのコラボ、海外旅行者などが使いやすい無料Wi-fiの整備を進めては。
- ・子どもや若者が来たくくなるような地域にしていきたい。
- ・活動PRや交流の場として博物館や体験館があると良い。  
→ 浜名湖体験学習施設「ウォット」を活用してはどうか。
- ・里山や海など多様な団体をつなぐコーディネーターが必要。
- ・情報交換の拠点があると良い。

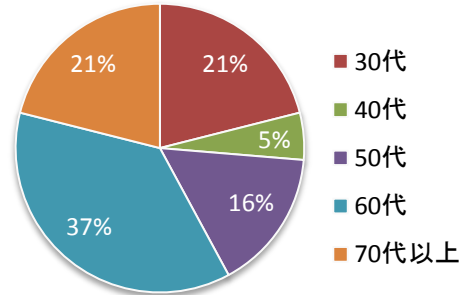
平成29年度 浜名湖環境保全活動交流実施業務委託  
『はまなこ環境団体交流会2018』  
アンケート集計結果

【実施日】平成30年2月10日(土) 13:30～16:30

【参加団体数】22団体 / 【参加者数】31名 / 【アンケート回答者】19名

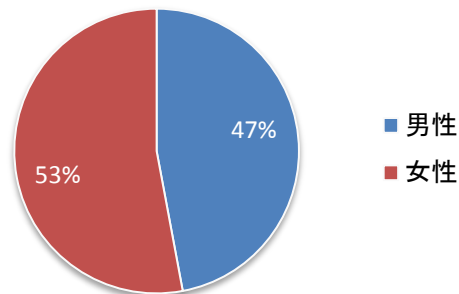
### 1. 年代

20代	0
30代	4
40代	1
50代	3
60代	7
70代以上	4



### 2. 性別

男性	16
女性	2

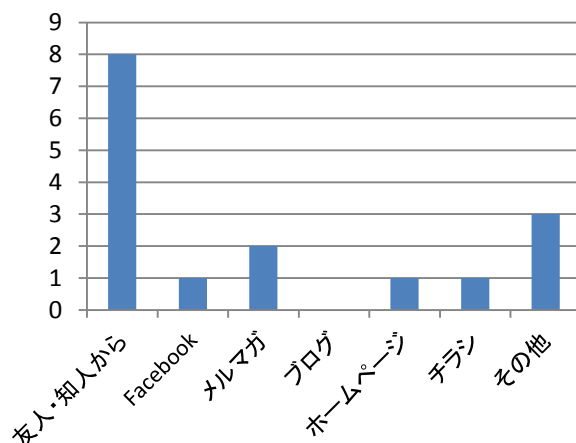


### 3. この募集をどこで知りましたか？

友人・知人から	8
Facebook	1
メルマガ	2
ブログ	0
ホームページ	1
チラシ	1
その他	3

#### （「その他」の内容）

- ・市からの案内
- ・市民協働センターからの案内
- ・はまなこ環境ネットワークからのメール





## 4. イベントに参加しようと思った理由

### (友人・知人に誘われて)

- ・友人に誘われて。
- ・当NPO法人が参加するため。
- ・弁天島遊船組合に関わるようになったため。

### (活動のPR)

- ・浜松市こみ処理非常事態宣言をより多くの市民に伝え、多くの市民にごみ減量を考えてもらうため。
- ・地球温暖化防止活動推進を行っているため。

### (情報収集とネットワークの構築)

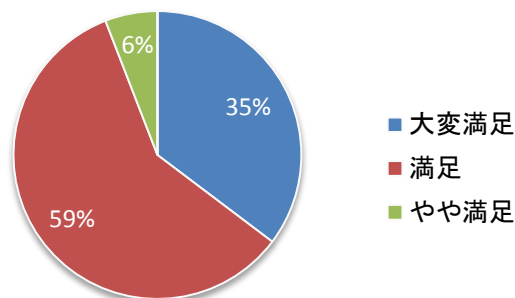
- ・具体的に、浜名湖で環境関係の活動をしている方や団体を知りたかったため。
- ・他団体の活動を知るため。(2件)
- ・立派な活動内容を知ることが出来る。多種の新情報を聞くことが可能。
- ・浜名湖が好きだから。行政、団体、企業のネットワークを使いたい。

### (活動の参考)

- ・自転車タクシーの活用を考えなかったため。
- ・環境活動の継続の参考にするため。
- ・各団体の話を聞き、環境と自然をどうするのか考えたい。
- ・NPOの参考になるような気がしたから。

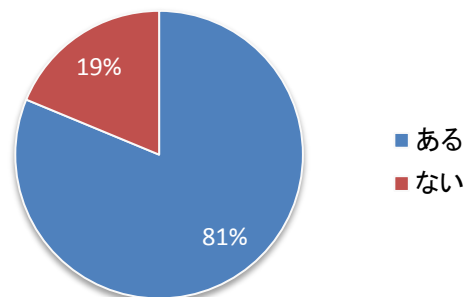
## 5. イベント全体の満足度

大変満足	6
満足	10
やや満足	1
やや不満	0
不満	0



## 6. 浜名湖の環境保全活動に関して、他団体と連携してみたいことはありますか？

ある	13
ない	3



### 6-1. 「ある」と答えた場合、具体的な連携案

- ・弁天島遊船組合。
- ・海関係であれば連携可能だと思う。
- ・竹粉の方、虫を食べる会の方。
- ・竹を使って体験活動や食を伝えたい。
- ・たくさんありましたが、まずは自転車関連の方々。
- ・野鳥観察会の開催。
- ・イベント時のごみの減量PR等。
- ・活動に対する参加人数を増やしたい。活動に対する期待値、動機付、好奇心(興味)が必要で、その活動を通して環境啓発を図れればと思っている。

## 7. 交流会の感想やご要望、今後期待することなど

### (感想)

- ・連携してイベントが出来ると良いなと感じた。
- ・山×海の新しい切り口は面白いと思った。⇒浜松にしかできない事。
- ・昨年三つの湖のサミットが「九重」ホテルにて開催された。  
浜名湖の“見どころ”“良いところ”を世界に発信させる必要があり、  
今後も一つでも小さいことでも実行していきたいと感じた。

### (交流会や今後の展開に関するご意見)

- ・この様な交流会が、今後もあれば良い
- ・このような会合を時々開催してほしい
- ・開催回数が増えるといいと思う
- ・もっと意見交換の時間がほしかった
- ・今後のコーディネート(が課題)
- ・定期的に情報交換できる場があると良いと思う。  
(フェイスブック上でグループなどがあれば情報共有しやすいかもしれない)

## はまなご環境団体交流会2018 参加者名簿

【日時】2018年2月10日(土)13:30~16:00  
【会場】庄内協働センター

■交流会への総参加団体数・参加人数は下記の通り。

参加団体数	22団体
参加人数	31名

### 内 訳

#### 《発表・展示団体》

発表団体				
発表順	参加団体(所属団体)	参加者氏名	参加	展示物
1	昆虫食倶楽部	夏目恵介 様	○	パネル展示、パンフレット配架、オリジナルグッズの展示・販売(手ぬぐい、缶バッジ、カメラ蓋等)
		西岡 愛香 様	○	
2	EM倶楽部/湖西	足田 憲宏 様	○	—
3	浜松地域資源活用研究会	会長 大石 誠一 様	○	パネル展示、チラシ配架、のぼり旗
4	浜松里山竹クラブ			パネル展示、チラシ配架、試食品提供(おから寿司)
5	NPO法人エコライフはままつ	高根美保 様	○	パネル展示、パンフレット配架、物品提供(ごみ減量啓発冊子)
		村河善信 様	○	
6	日本野鳥の会 遠江	増田裕 様	○	パネル展示、パンフレット配架
7	一般社団法人りんたく遠州	佐野正武 様	○	パネル展示、自転車タクシー実物展示
8	浜名漁協弁天島遊船組合	間瀬 泰成 様	○	チラシ配架
展示団体				
申込順	参加団体(所属団体)	参加者氏名	参加	展示物
1	NPO法人 児童支援サポートセンター nourish(ナリッシュ)	原崎 昭人 様	○	パンフレット配架
		古橋 照久 様	○	
2	はまなご環境ネットワーク	会長 芥川 知孝 様	○	パネル、チラシ、のぼり旗、試食品提供(アマモで育てた野菜や漬物)
3	浜名湖サイクルツーリズム推進会議	作業部会リーダー 山内 秀彦 様	○	ポスター展示、チラシ配架、サイクリングマップ・グッズ展示
4	レンタサイクル「はままつペダル」	和田 哲幸 様	○	ポスター展示、チラシ配架、自転車展示、ノベルティグッズ展示
5	NPO法人地域づくりサポートネット	鈴木 紫のぶ 様	○	ポスター展示、マップ・チラシ配架
6	浜名湖のリブランド推進協議会	—	—	試食品提供(浜名湖のりや小魚の佃煮)
発表・展示団体数			<b>14団体</b>	
参加人数			<b>15名</b>	

#### 《一般聴講参加》

	参加者氏名	所属団体	参加者数	参加団体数
1	森下芳則 様	NPO法人ラブ・ネイチャーズ	○	○
2	鈴木智明 様		○	
3	笹山愛 様	スズキ株式会社	○	○
4	鈴木良実 様	浜松市環境政策課	○	○
5	倉橋 様	浜松里山竹クラブ	○	※カウント済
6	中津川 様		○	
7	佐々木 様	浜名漁協弁天島遊船組合	○	※カウント済
8	岡部 様	一般・農業	○	—
9	鈴木恵子 様	認定NPO法人魅惑的倶楽部	○	○
10	須山高七郎 様	浜松市市民協働センター	○	—
11	山崎三郎 様	はまなご環境ネットワーク(EM倶楽部 湖西)	○	※カウント済
12	竹山一久 様	くらぶ・ユース	○	○
13	山本ゆきお 様	遠州信用金庫 地域サポート部	○	○
14	寺田智成 様	ボーイスカウト浜松第15団	○	○
15	稲葉 大輔 様	浜松市議会	○	○
16	八木 貴美 様	県くらし環境部 自然保護課	○	—
			<b>16名</b>	<b>8団体</b>

【注意】「発表・展示団体」で既にカウントしている団体、主催の県、受託者の市民協働センター、一般聴講者は「参加団体数」に含まない。